



新年のご挨拶

大衡村長 萩原 達雄



明けましておめでとうございます。
新しい年の幕開けにあたり、希望に満ちた輝かしい一年になることをお祈りし、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月から5月にかけて政府の緊急事態宣言を受け、学校の休校や施設の使用制限が行われ、近年稀にみる激動の年でありました。本村においても「敬老会」や「ふるさと祭り」などの行事を中止したところがあります。村民の皆様におかれましては、「新しい生活様式」を実践していただき、一日も早い収束を願うものであります。昨年の水稲作況指数は、本村の位置する

宮城県中部で「102」の「やや良」となりました。しかし、農業を取り巻く情勢は恒常的な農産物価格の低迷など、依然として厳しい状況の中にあり、農家の皆様が安定して農業経営ができるよう、地域農業の更なる活性化を図りながら、引き続きできる限りの支援をしてまいります。

雇用機会の増加と自治体の自主財源の確保に繋がる企業誘致では、昨年は「グローテック株式会社」が操業を開始し、また、新たに「株式会社イズミテクノ」が、第二仙台北部中核工業団地に進出を決定するなど、企業立地が着実に進んでおり、今後も積極的に取り組んでまいります。

本村の人口増加に直結する定住化促進につきました。ときわ台地区の住宅団地にほぼ全世帯がお住まいになられ、定住化
長年の懸案事項でありました旧幼稚園舎の利活用につきました。昨年10月に「おおひら子どもの心のケアハウス」が開設し、今年の4月には、シルバー人材センター及び図書室・学習室など、多目的施設として活用されることとなります。

が図られております。今後は海老沢地区や五反田・亀岡地区の土地利用について促進してまいります。
国道4号の拡幅事業につきましては、用地補償調査と並行して用地交渉が進められております。昨年は文化財調査が行われたほか、大崎市側から河原地区まで工事が着工されました。今後も早期完成に向けて、沿線自治体及び村内立地企業と連携し強く要望してまいります。
村内の水害対策は、国により進められております。善川遊水地につきまして、現在、ほぼ全域にわたる築堤工事が進められております。適切な水害対策となるよう国に強く働きかけをしてまいります。

子育て支援につきましては、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりとして、18歳までの医療費助成や妊婦に対してタクシーへの乗車や紙オムツ、粉ミルクの購入に利用できる万葉のびの子育て支援券の交付、出産祝金と入学祝金の支給に加え、小中学校給食費の無償化を行い支援の拡充を図っております。

また、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、令和5年度までに老朽化した学校給食センターの建て替えを計画しております。

村の財政につきましては、皆様のご協力により、県内においても良好な状況となっております。近年では自動車関連産業のみならず、高度電子機械産業などの企業立地が進み、自主財源比率が年々高まっております。今後も中長期的な視点に立った財政運営を行いながら、生活環境の整備や福祉の向上、基幹産業である農業振興のために、更なる取り組みを進めてまいります。

結びに、昨年は新たな村の長期ビジョンの指針となる「第六次大衡村総合計画」を策定いたしました。本村の限らない発展と地方創生の実現を目指し、総合計画の基本理念である「新しい時代につなぐ豊かな万葉の里・おおひら」が実感できるよう、諸施策を全力投球で推進し、村政に邁進して参りますので、尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

